

提議体との會見の結果右記覚書の如く圓滿解決を爲すことに決したるが今後は双方に於て一切本件に關し再び異議を設けざることとし覚書を作成し警察、炭坑、争議團に於て各一部を保管す。

昭和七年五月四日

校長	橋本良二
抗夫代表	本國出之
	川口忠幸
	森野千代馬
	曾口慶八
應援團代表	井元麟光
立會人	有田誠人

(別記)

首切絶對反對だ！
俺達の要求を入れろ！

敵島炭坑争議應援委員会

みんな團結しろ！
仕事へ行くな！

敵島炭坑争議應援委員会

農民と労働者とは團結
して勝利するのだ

敵島炭坑争議團

敵島炭坑争議應援委員会

カンラタ横書應援金を要求せよ！

敵島炭坑争議團

敵島炭坑争議應援委員会